

# 七尾みなと ロータリークラブ



クラブテーマ 「広がるロータリー」

姉妹クラブ：カーメル・バイ・ザ・シー RC【RID 5230】  
友好クラブ：あづみ野 RC【RID 2600】・瀬戸北 RC【RID 2760】

第 1477 回例会 2017 年 8 月 22 日(火) 12:30 開会点鐘 番伊 ロータリーソング「それでこそロータリー」

## 会員卓話 戸田 一明 直前会長

第 1476 回例会(8/8)報告

進行：間蔵 SAA

◎開会点鐘

◎会長挨拶 多田 会長

- ・ビジター紹介 加賀 RC 唐谷好二 様・田中宏和 様
- ・米山奨学生紹介 ハリー・セイザー 君

私は出張が多い為、新幹線や飛行機を使う機会が多い方です。皆様の中でも色々な経験があると思いますが、私のエピソードをお話し致します。東京からの帰りでしたが、その日は飛行機の出発時刻にギリギリで仕事を終えたのが品川でしたから、京浜急行に飛び乗りました。運良く乗り込んだ電車は特急で余裕が出来たと喜んでいたら、停車駅の京浜蒲田で信号トラブルで暫く停車する旨のアナウンスが流れました。マズイと思った瞬間に電車から飛び降りホームを下り改札をでると、運良くタクシーが一台居ましたので飛び乗り『運転手さん! 羽田空港へ、急いでお願いします!』と頼むと何時の飛行機ですか? と返され時間を伝えると『厳しい時間ですが急ぎましょう』と応えてくれました。中々走り屋さんでヘアスタイルはリーゼント。信号無視までして出発ロビー入口に着けてくれました。辛くも間に合った訳ですが、振り返ると特急電車から下車するのが僅かでも遅れていたら、恐らく間に合わなかったでしょう。最終便でしたから、次の日の用事に支障をきたし、挙げ句の果て宿泊費用はかさむはで大トラブルになる所を、我ながら自分の判断に満足しました。この話の教訓は皆様も会社経営、或いは何らかの集まりの責任者を担う時に、類似したような事や問題に遭遇する場合がありますかも知れませんが、良い結果得る事が出来ます様に、そして何かの時に幸いと成りますことを希望し、些細なエピソードでしたが実際の私の経験談をご紹介しました。

◎幹事報告 田中 幹事

九州北部集中豪雨被害義援金箱に 28,000 円ご協力頂き、対外協力金 22,000 円を支出し、50,000 円を送金しました。

◎地区大会 PR 加賀 RC より

10 月 27 日(金)ゴルフ大会

一日目 10 月 28 日(土)

二日目 10 月 29 日(日)

会員の皆さんの多くの登録をお願いします!!



◎出席報告 吉井 クラブ奉仕委員

会員総数 50 名(内、出席規定適用の免除者 5 名) 出席者 38 名  
メイク(第 2 回理事会承認分)

8/4 北親会献血会協力：井田、中越、木下徳泰、茶谷、杉藤、吉井、田中

◎ニコニコ箱紹介 長坂 ニコニコ箱管理小委員長

加賀 RC 地区大会実行委員会

10 月 28・29 日、加賀にて七尾みなと RC 様の多数のお越しをお待ちいたしております。よろしくお祈りいたします。

多田会長 台風、今のところ何とか石川県はなりそうですね! 又、無事な事を祈りたいです。ハリー君卓話よろしくお祈りいたします。

佐味貫義 ハリー君ようこそ。加賀クラブの皆様ご苦労さま。

高橋 ハリー君卓話楽しみにしています、日本語うまいから安心です。

山田 米山奨学生ハリー・セイザー君卓話ごくろうさま!!

又、加賀 RC の皆様、地区大会 PR ごくろうさま!!

田中 唐谷さん田中さん、ようこそみなと RC へ。先週の花火いかがでしたか? 夏本番といったところですかね、終わると稲刈りです。

姥浦昭二 台風 5 号が当地を過ぎ去り安心です。米山奨学生ハリー・セイザー君の卓話を楽しみにしています。

戸田 ハリー君、インドネシアの星となる日を期待しております。

桑原 台風 5 号、多くの地域に被害を残しながらやっと日本をぬけそうですね。ハリー君どんな話が聞けるか楽しみです。加賀 RC の唐谷、田中様台風の中ようこそみなと RC へ、地区大会頑張ってください。

間蔵 先週の花火例会ご苦労様でした。加賀 RC 唐谷様・田中様ようこそ七尾みなと RC ご来尾ありがとうございます。

月	日	曜	プログラム	週報担当
8	22	火	会員卓話 戸田一明 直前会長	中野
8	29	火	ゲスト卓話 (株)石川スポーツキャンプ 代表取締役 吉田 泰 氏	長田
9	5	火	会員卓話 桑原了子 雑誌 R 情報小委員長	長
9	12	火	坂室英仁 石川第 3 分区ガバナー補佐訪問	山本
9	19	火	新会員卓話 関軒明宏 会員	

会 長 多田 計介  
副 会 長 魚岸 誠  
副 会 長 中出 信行  
幹 事 田中 哲  
広報ニューメンバーズ委員長 姥浦 敏明

創立1986年6月15日  
RI 認証1986年6月26日  
【国内第1721】



中野 ハリー君頑張ってますか？インドネシアへ行きたいので、その時はお世話をお願いします。

木下敬夫、長、中越、森、姥浦敏明、勝木、山本、魚岸、西野、岡崎、松井、井田、久保

台風5号の影響が七尾には余りなく良かったです。

..8/8日計 27,000円...累計 183,000円..

◎ロータリーの友8月号紹介 桑原 雑誌ロータリー情報小委員長

◎米山奨学生卓話 ハリー・セイザー 君



皆さんこんにちは、改めて自己紹介をします。

インドネシアから参りましたハリー セイザーと申します。現在は金沢大学の国際学類で国際関係や国際文化を中心に勉強しています。

今回は勉強、研究について詳しく話しませんが、また今度チャンスがあればぜひ皆さんに知っていただきたいと思えます。

今日は、なぜ日本に来たか、どうやってここにたどり着いたかなど、自分と国について少し話します。

日本にきて大学に入るまでの道が少し長いです。インドネシアでは中学校までごく普通の学生生活を送っていましたが、高校は一変して、一般科目を学びながらサービス・ホテルの知識を蓄える高等専門学校に通いました。この学校では主にホテルの経営や具体的な仕事について勉強しましたが、その他には観光のことも教えられました。その時は英語が得意だったので、英語で社会貢献ができないかと思ったら、ガイドあるいは翻訳の仕事に就きたいと思いました。そのためには知識と能力がさらに必要で、大学に進学したほうが良いと先生に言われました。

しかし当時、父も母も病気ですでに亡くなっていたので、一人の弟をどうにかしていかなければと思い、大学進学をいったん諦めて、パートとしてホテルで働くことになりました。ホテルで働いて1年半経ったあとに、人生の転換になる出来事が起きました。実は日本で叔父が長年間働いています。その叔父がある日電話で話している途中で、「日本に来ないか。ここならアルバイトしながら学校に通えるから、大学にも行けるかもしれない」と私を日本に誘ってくれた。

日本を紹介する番組をよく見ていたので、日本にはあこがれていました。しかし、前にも言ったように父も母もいなくて経済的に難しかったので留学は夢のなかの夢みたいなものでした。弟のこともあり、叔父の誘いに乗るかどうかもまた悩むことになり、家族と相談してから日本への留学という決意をしました。

日本に来たのは2013年でした。その時は静岡の浜松市にある日本語学校に通うことになりました。また学校では日本語の勉強と大学受験の準備をしました。叔父からは入学とアパートの手続きだけをサポートしていたので、学費

と生活はアルバイトでまかないました。その時のアルバイトはラーメン屋でのホールや、宅急便の仕分け担当、ケバブ屋さんでのホールなど様々でした。一日の12時間はアルバイトで詰まっただけで、勉強する時間はあまりなかったのですが、睡眠時間を少なくするなど工夫をしました。

大変なこともありましたが、アルバイトでは日本人とよく話していたので、そのおかげで日本語能力が高まり、日本の文化を知って体験できました。また、睡眠時間が少なかったのも、どのように健康でいられるのかを徐々に考えました。その時は今まで一番健康に注意をしていた時期で、健康であることはどれほどありがたいことを気づきました。そして、日本語学校での勉強が一年立って、とうとう大学受験の準備に入りました。日本の大学に入るには留学試験という試験を受ける必要があります。留学試験の内容は歴史、政治、地理などの一般科目と数学と日本語でした。留学試験を受けてから行きたい大学を決めるわけですが、三つの大学の選択がありました。国際学を勉強したかったので、静岡大学、金沢大学、そして筑波大学の選択があったのですが、受験日が一緒でしたので一つを決めないとはいけませんでした。静岡大学ではインドネシア人留学生が多すぎるので、彼らに頼って日本語の勉強と日本人との接触機会が少なくなるだろうと思い、やめました。筑波大学だと町から遠すぎるので、勉強でストレスがたまったら発散するのが難しいでしょう。三つの中で一番理想的なのは金沢大学でした。先生も勧めてくれたし、この大学だと勉強も遊びもアルバイトもできると思いました。というわけで、金沢大学を選び、幸いなことに入学できました。

大学に入ってから、新しいこともびっくりすることもありました。日本人とより仲良くできるのはよかったです。カルチャーショックが多かったです。その一つは、廊下ですれ違っても知り合いは挨拶してこないことです。インドネシアではせめて笑顔で相手を見ますがあの時の友達は目さえ合わせなかったのも日本文化の深さを思い知らされました。

日本での生活は辛いこともありますが、インドネシアにいたときに比べたら今の自分にはるかに成長していると感じて、日本に来て良かったと思えます。また日本語学校に通っていたころに比べると、ありがたいございます、お疲れ様ですという挨拶しかできなかった自分が、アザースお疲れっす、など使って 場面によって言葉を使い分けることができるようになりました。また最近では日本のお笑いもわかるようになっていて、日本での生活がますます楽しくなりました。

これからは勉強ももちろん様々な人とであって新しいことに挑戦したいと思えます。去年小論文コンテストで受賞できましたが、今年からは米山生になったので与えられたチャンスをしっかりと見逃さないようにしたいと思います。いろいろと面倒をおかけするかもしれませんが、2年間よろしく願いいたします。

◎閉会点鐘

[週報担当：桑原]

次週予告

8月29日(火) 12:30開会点鐘 番伊

ゲスト (株)石川スポーツキャンプ

代表取締役 吉田 泰 氏

今週の例会担当者： 長坂、関軒、奥井、高橋

次週の例会担当者： 寺田、吉井、杉藤、勝木、鳥畑